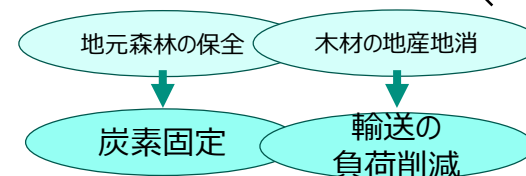


No.6 株式会社フォレストバンク (1/2)



森林事業を起点とした環境価値創出事業を展開し、地域森林の活用 に貢献する



■ 基本情報

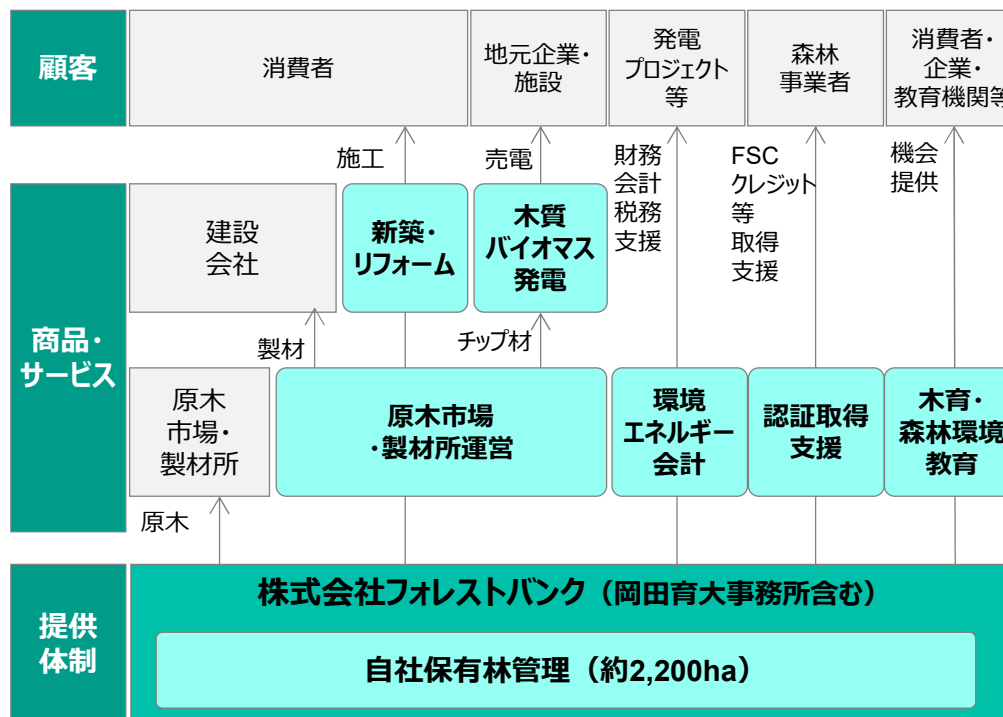
企業名	株式会社フォレストバンク
本社所在地	徳島県徳島市
設立年	2007年
従業員数	18名

■ 背景・課題

地域課題 ・ 企業課題	<p>低迷する林業の再興</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 木材販売価格の下落に伴い、事業を進めるほど赤字が続く林業。人材獲得も困難な中、まず事業を継続することが求められた。
地域資源	<p>徳島県産材の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 本来製品化できない未利用材をチップ化し、木質バイオマス発電所の燃料として活用。SCMの構築による流通の効率化にも取り組む。
地域への貢献	<p>地産地消のエネルギー供給</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 原木市場からの調達に加え、徳島森林づくり推進機構と協力し、100%県産材由来の発電を実現。発電したエネルギーは県内企業・施設へ供給する。

■ 事業概要

- 株式会社フォレストバンク（以下、フォレストバンク）は、代表の岡田氏が所有する山林の管理と価値向上を目的として設立された山林管理会社である。所有山林を起点とした森林事業と、持続可能な社会の実現を支援する環境エネルギー事業を主に展開しており、2021年には第6回四国環境パートナーシップ表情ESD人材育成部門優秀賞を受賞している。
- 森林事業では、森林保護と生産活動を両立させる自伐型林業の実践に加え、パートナー企業と連携した木材SCMの構築や木育・森林環境教育も手掛け、森林クレジットやFSC認証による森林価値の向上にも取り組む。
- 環境エネルギー事業では、県産未利用材を活用した木質バイオマス発電事業も手掛け、株式会社UPDATER（旧：みんな電力株式会社）と提携し、徳島県内の企業・施設への供給を行う。また岡田氏の公認会計士・環境コンサルタントとしてのキャリアをきっかけに、環境・エネルギー問題の解決のための財務・会計・税務面の支援を行う「環境エネルギー会計事業」も展開する。



・GBバイオマス発電所出力：
480kW
・徳島津田バイオマス発電所出力：
74,800kW



No.6 株式会社フォレストバンク (2/2)



■ 事業立上・推進期における取り組み内容

立上期

- 公認会計士である現代表の岡田氏が、林家19代目として山林を相続したことをきっかけに、森林管理会社としてフォレストバンクを立ち上げた。
- 当時は森林施業費が材木の販売価格を上回り、施業を進めるほど赤字が積み重なる状況であったので、森林整備目的の間伐のみを実施した。現場の間伐作業は、人材不足のため、岡田氏の親族が経営する施業会社に委託していた。
- 森林施業の内製化を目指し、人材採用活動を強化した。徳島県那賀町と協働で林業体験イベント「リアル林業体感3DAYS」を開催する他、管理委託された那賀町のキャンプ場にて来場客に森林の魅力を伝える活動を続けた。同取り組みが周辺企業に口コミで広がり、Iターン・Uターンを検討する県外出身のメンバーも加わり始めた。
- また、相続前に岡田氏は環境エネルギーコンサルタントとしても働いており、立上期からFSC認証やカーボンプレジット認証取得などのサービスを手掛けた。

推進期

- 2016年頃から自社メンバーで施業班を組成し、森林施業に取り組むことが可能になった。従前外注していた間伐作業を自社で実施、木材を販売する。
- また、多様なバックグラウンドを持つ人材の獲得・育成が進み、森林経営を起点として多様な事業を展開した。川下から川上までサプライチェーンをつなげ、需要家の声を森林経営の現場に届けることを目的に、原木市場や木造建築の施工にも参画した。
- 原木市場の、曲がりや節、虫食い、穂先など、製品化できない木材の活用先として、バイオマス発電事業も開始した。100%徳島県産材由来の発電を実現し、発電した電力は、株式会社UPDATER (旧：みんな電力株式会社) を通じて地元の施設や企業へ供給する。
- 地元高校卒業生への求人も強化。若い人材の獲得にも成功し、SNS等を通じたフォレストバンクの広報活動の強化にも繋がっている。

■ 取り組みにおける工夫

ポイント 森林経営の周辺にある多様な事業を展開

森林クレジット認証や木質バイオマス発電など、森林事業を起点に様々な事業を展開。結果として、祖業である林業の黒字化に向けて中長期的な投資が可能になり、木材SCMの構築や自伐型林業の実践など先進的な取り組みに着手できた。

ポイント 大手勤務人材を活かした事業開発

同社には、多様な人材が所属しており、代表をはじめ、在京の大手企業に勤めていた人材も多い。こうした人材のネットワークを活用し、バイオマス発電案件のパートナーを獲得したり、日々の収益に繋がるコンサルサービスを手掛けたりすることが可能であった。

ポイント BtoC事業を通しビジョンに共感する人材獲得

キャンプ場の管理や林業体験イベントの開催などを通じて、森林の魅力を発信し続けることで、徐々にフォレストバンクの認知拡大に成功した。それにより、同社のビジョンに共感する人材を獲得することができ、全社一体となって事業に取り組むことができた。

■ 目指す将来像

森林を起点とした環境価値の創出

- 従前の事業多角化路線から一転し、これからは既存事業への集中投資を進め、林業単体での黒字化の実現を目指す。そのために、木材サプライチェーンを一気通貫する体制を更に強化し、需要家の声を活かした付加価値の高い木材の生産を目指す。
- 中長期的には、持続可能な地球を次世代に引き継ぐというビジョンの下、森林事業による自社でのCO2削減、および環境エネルギー事業による他社の環境事業支援を継続・拡大する。

